

問

1. 北小学校施設の利活用は。 2. 町全体の快適な環境づくりは。



澤畑議員

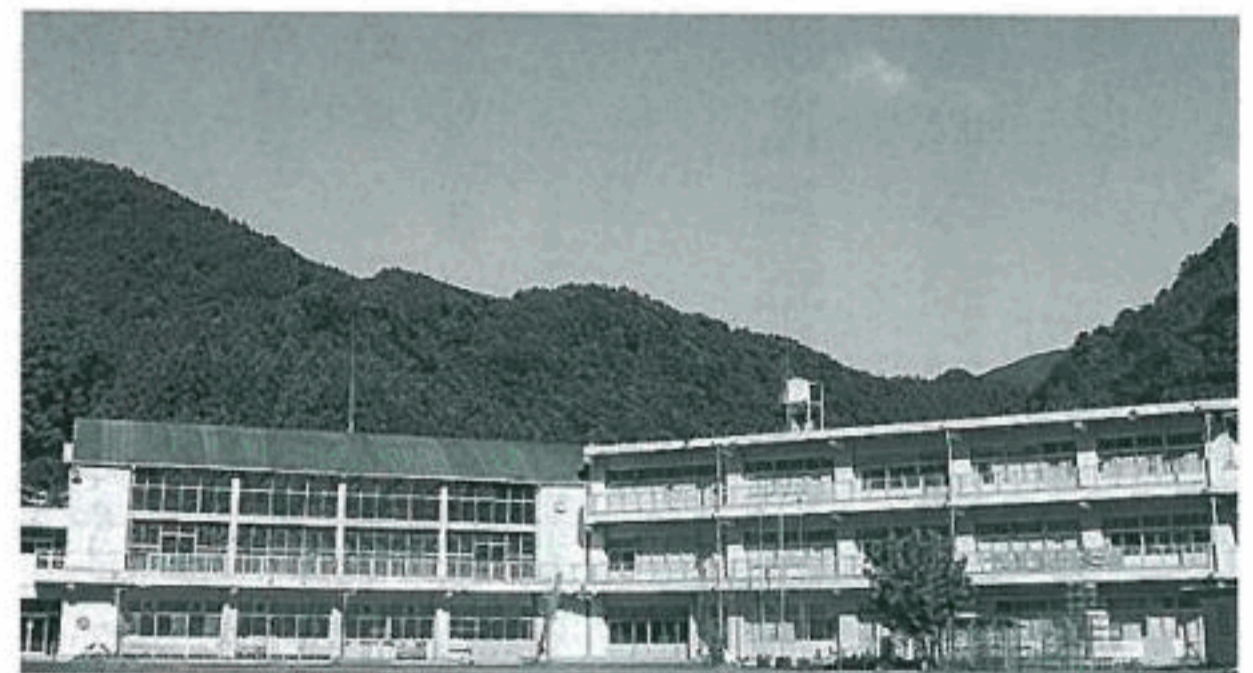
質問1 北小学校は平成18年4月南小学校と統合し、現在利活用されていない状況である。統合を進めていく段階で地域住民の中心施設として、また子どもたちも利用できる施設として活用も考えられるが町としてどのような方向で検討されているか。



町長 元本川根北小学校跡地の有効活用については、重要な課題でありまして、課長職以上で組織する庁内の町有財産有効活用検討委員会、今年度から定期的に検討しているところであります。校舎を有効活用する上で解決しなければならぬ課題として、耐震強度の不足があります。この校舎は昭和52年度に建築されていますが、昭和56年に建築基準法が改正され、耐震強度基準が変更されています。施設を継続して使用している場合は、建設当時の法律、耐震強度基準が適用されますが、廃校となり、学

質問2 農村個有の共同作業、共同役割などがうすらぎ、荒廃した農地も増加している現状の中で、全町公園化を目指すことは、住みよい本町づくりの基本と考える。旧本川根、旧中川根の交流をはかる視点からも、児童、生徒を含めた全町民で花、樹木を植えて育て、環境づくりを推進する考えはないか。

町長 現在、町全体を公園化するという具体的な計画は持っていませんが、町内の花壇づくりに関しては旧本川根地区の花づくり事業補助金を地域緑化事業費補助金交付要綱に統合しております。今後も地域の花壇につきましても一層の制度活用を努めたいと考えています。また旧両町ごとに組織していた花の会については統合の調整中ですが花の会を中心とした住民主体の地域緑化を進めることは必要と考えておりますので、学校、花



の会の皆様との連携を密にして町全体の緑化活動に協力していきたいと考えております。今後とも議員ご指摘のとおり地域全体で生涯学習、あるいは区の事業等を利用しながら、それにまた行政が補助するような形で、快適な環境づくり、あるいはミニ公園等あるいは花壇の整備が行なわれればと考えております。また今年の4月長島ダムのシバザクラが大変有名になり、こうした町全体としてテーマを持って、住民の方々と共にやれるので

1. 地区の要望、意見に対応しながら慎重に検討していく。
2. 花の会、学校等と連携して住民主体の地域緑化を推進していく。

答